

自己評価シート NO1. 教育課程・学習指導

領域: 確かな学力の育成		中期目標: 分かる授業・楽しい授業を工夫し、子どもが生き生きと学びあう学校を創造する。						
短期目標		成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価
			教職員	児童	保護者	地域		
①	分かる授業・楽しい授業の推進	体験的な学習を計画的に実施する。	A	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画の見直しを2月に実施する。</li> <li>・体験的な学習の見直しを図り、計画的に実施する。</li> </ul>	B
			単元・題材により意図的に多く取り入れている。	算数がわかる。ほとんどわかる。先生の教え方がいい。黒板に書いて、わかりやすい。難しい。		教師は児童一人一人の個性を引き出し、生き生きと発表させた。 児童数が少なく、どうやって競争心を養うか。 子どもの活気については、本校だけではないが乏しい。		
②	書く習慣形成と文章力の育成	ノート指導の充実を図る。	A	A			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートのよりよい使い方の指導を実施する。</li> <li>・自分の考えをまとめて書く時間の設定をする。</li> </ul>	A
			書く活動は必ず行っている	ノートに書かないと忘れる。復習するときにくい。ノートに書いてまとめる。こまめに書いている。				
③	きめ細やかな指導の徹底	複式学級や少人数のよさを生かし、個に応じた指導を実施する。	A		B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導の工夫(教材等)をする。</li> </ul>	A
			学習に遅れがちな児童に継続的に関わることができた。					
④	基礎基本の定着と発展学習の推進	補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導をする。	A		B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の時間に音読の時間を位置づける。</li> </ul>	B
			発展学習として、プリントを用意している。 月1回、全校テストを実施した。 家庭学習の定着を図った。					
⑤	評価の活用	単元及び1単位時間ごとの評価規準・評価方法等を決め、実施し、その結果を次の指導に生かす。	D		B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価計画・評価規準についても見直す。</li> <li>・児童の様子を記録に残す。</li> </ul>	C
			教科によっては実施している。実施しても次にいかしていない。					

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

#### 外部評価

- ・ 小規模校としての現実をマイナスに取らず、プラス思考で学習指導に取り組み、その成果をあげている。

#### 外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 個々の児童の興味・関心に応じた課題を取り上げたり、学習に遅れがちな児童に継続的に関わったりすることにより、きめ細やかな指導を徹底する。
- ・ 評価計画を作成し、それに基づき児童の様子を記録して次の指導に生かす。

自己評価シート NO1 教育課程・学習指導

領域：ふるさと教育の推進		中期目標：自然や歴史、文化等のふれあいを通して、感受性豊かな心を育てる。						
短期目標		成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価
			教職員	児童	保護者	地域		
①	地域の特色を生かした教育活動の推進	地域のひと・もの・ことを積極的に活用した教育計画を立てる。	A	A	A	A	・年間計画の見直し、育てたい力を明らかにする。	A
			年間計画に位置づけ、老人会や公民館との指導のもと、体験的な活動を積極的に実施している。	おもしろい。作ったりする勉強は楽しい。花田植え囃子などいろいろなことがあって楽しい。地域の楽しさがわかる。地域の人が答えてくださり、勉強になる。		地域との交流を大切にしており、授業でもしっかり地域から指導を受けている。総合的な学習の時間は地域と学校の連携が図られ、良い活動である。		
②	問題解決的な学習の構成	望ましい学習方法や授業のルールを身につけ、一人学びや共学びのできる児童を育成する。	D	/	B	/	・6年間を見通して、一人学び・共学びについてめざす姿を設定する。	C
			一人学び・共学びに関わる学習方法、授業のルールを掲示するなどして、児童に知らせている。すぐには身につかない。教師に余裕がない。					
③	話す力・聴く力・対話力の育成	話したり、聴いたりする場を設定する。	B	C	B	/	・話し合いの仕方を指導する。 ・1時間の中に話したり、聴いたり、発表したりする時間を設定する。	B
			朝礼のメニューに入れて、必ず行うようにしている。	思いついたら、言いたい。分かったことを発表する。自分の思ったことなどを言えることが多い。あんまり自分から発表できない。				
④	国際理解・環境・福祉教育の充実	地域の中で新しい教育課題の視点をもって教育活動を展開する。	D	/	/	/	・年間計画に視点を盛り込む。	B
			ALTによる英語活動や、川の活動、もやいの家訪問、老人会や児童館との交流など実施している。					

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

#### 外部評価

- ・ ふるさとに愛着を持つ教育が展開されていることに敬意を表したい。唯、気を付けたいことは、体験学習は時間と労力を要する。教師の多忙さにつながらないよう配慮を望む。

#### 外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 年間計画を見直して地域の特色を生かした教育活動を推進する。
- ・ 「一人学び」「共学び」の場を設定し、自学の力を育てる。
- ・ 年間計画の中に国際理解・環境・福祉教育の視点を盛り込む。

自己評価シート NO. 1 教育課程・学習指導

領域：心の教育		中期目標：道徳教育や人権・同和教育等を通して、心の教育を推進し、思いやりなど社会の一員としての基礎的資質を育てる。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
①	心の教育の推進	ふるさと教育を通して、心の教育の充実を図る。	B 地域のひととの関わりの中で交流を深めている。	/	B	A	・地域の教育力を活用した教材を開発する。	A
②	心を育てる日記指導の推進	日記指導を通して、道徳的心情を育てる教育に取り組む。	D あのねノート（日記）の返事でその子を認めたり、気持ちを理解したりするようにしている。一言感想程度しか取り組んでいない。	/	/	/	・日記指導を通じた道徳教育を積極的に行う。	C
③	道徳教育の充実	体験的な活動や地域のひと・こと・ものを活用した道徳教育を実施する。	C 道徳の時間では活用していないが、行事等で感謝の心を指導している。大きくとらえた中の道徳教育にまで至っていない。	/	/	/	・道徳の時間で、地域の外部講師（出前講座）の話などを取り入れたい。	B
④	人権・同和教育の推進	共通理解のもと指導を進めていじめや不登校の根絶に努める。	A 学期に1回は教育相談を実施し、児童理解に努めている。	B 友だちがすき。友だちと遊ぶのが楽しい。仲良く遊んでいる。楽しく遊ぶ。仲間はずれにしていない。したりしなかったりするときがある。	A 少人数で仲良く生活できている。	/	・相手の気持ちを考えた言葉遣いについて焦点を当て、指導を継続する。	A
⑤	豊かな読書活動の推進	朝読書や読み聞かせなど豊かな読書活動に取り組む。	A 毎朝の読書、月1回の読み聞かせ、週1回の委員会による読み聞かせを実施している。	B 楽しい。おもしろい。学校ではするが、家庭ではしない。漢字とかあって読みにくい。	B	/	・保護者への呼びかけを通して、家庭での取り組みに発展させる。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%～90% C 50%～70% D 50%以下

#### 外部評価

- ・ 少人数学級の利点を活かした「日記指導」は心の教育の充実に大きな比重を示している。継続を望む。

#### 外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 日記指導を通して担任と児童の心の交流を図ることにより、道徳的心情を育てる取り組みを積極的に推進する。
- ・ 地域の教育力を活用した教材を開発し、心の教育に生かす。
- ・ 道徳の時間に地域の外部講師を活用し、道徳教育の充実に図る。

自己評価シート NO. 1 教育課程・学習指導

領域：健やかな体の育成		中期目標：体力・運動能力向上の取組を通して、運動の習慣化を図る。							
短期目標		成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
			教職員	児童	保護者	地域			
①	外遊びの奨励	外遊びを奨励し、元気な体作りを勧める。	A	B	A	/		・子どもと共に遊び、遊ぶことの楽しさを味わわせる。	A
			教職員もいっしょに遊ぶようにしている。	楽しい。外で遊ぶのはとても楽しい。ハンドベースボールや野球をするのが楽しい。元気になる。天気がいい日は遊んでいる。時々遊ぶ。中で遊ぶ					
②	業間運動の継続と工夫	業間運動に継続的に工夫して取り組む。	A	B		/		・業間運動に工夫を取り入れる。	A
			ほぼ毎日取り組んだ。						

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ 先生方が個性を発揮し、子供達とよく遊んでおられる。すばらしいことである。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 子供とともに遊び、外遊びの楽しさを味わわせる。
- ・ 業間運動に工夫を取り入れる。

自己評価シート NO. 2 生徒指導

領域：学級づくり		中期目標：生徒指導の進め方について共通理解を深め、児童の健全育成を図る。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
①	基本的生活習慣の形成	課題の把握と重点的な指導を実施する。	A 学級指導とうがい・手洗い等がうまくつながっている。 家庭生活の早寝・早起きまでの生活習慣までなかなか入っていかない。	/	A	B 高校生のまねか、ズボンをずらしている子が一人ぐらいいいた。	・タイムリーなお知らせや家庭への啓発を行う。 ・時々チェックをする。	A
②	生徒指導と仲間づくりの充実	積極的な生徒指導による豊かな人間関係に包まれた学級経営を推進する。	A	A いろんなことをする。 遊べる。勉強できる。 おもしろい話題など話している。 すごく元気があって楽しい。 少し楽しい。	B	A 全校児童が兄弟のように仲良くほほえましい。		A
③	学級文化の創造	児童と担任のよさが生きる学級の取組や雰囲気作りに努める。	B	A 先生がいる。たまに相談する。 少しいる。	A	/		B
④	豊かな言語環境の充実	気持ちのよいあいさつや丁寧な言葉遣いをする。	C これまでの様子を振り返り、何をどう直すのかはっきりさせて取組たい。	B いやな言葉を使ったら、みんながいやな気持ちになる。ときどき。ことばに気をつけている。毎日やっている。大きな声で挨拶する。大きな声がでない。時々正しい言葉を使っていない。あまり分からない。	B	/	・学級で機会があるごとにあいさつについて指導する。 ・課題をあきらかずに、学級に応じた対応策を考える。	C
⑤	爽やかな歌声の推進	学校内に歌声があふれ、すがすがしい空気を作る。	C 毎朝歌っている。	/	/	/	・全校朝礼や集会でも歌い、歌が身近に感じられるようにする。	B
⑥	学級間交流の推進	学級間で交流を図ったり連携したりする。	B 学級間でともに活動することはあまりないが、全校で活動していると思う。	/	/	/		B

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下



#### 外部評価

- ・ 学級作り、仲間作りは単なる「なかよし集団」にとどまらず、時に意見の衝突、言い合い、ぶつかり合いがあつてこそ成り立つ。小集団だからこそ、そういう葛藤場面を意識的に構築してはどうか。

#### 外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 積極的（予防的）な生徒指導に心がけたり、規範意識を高めたりすることを通して、社会性を培う。
- ・ 機会があるたびに指導を重ね、発達段階に応じて気持ちの良い挨拶や相手の気持ちを考えた言葉遣いができるように指導していく。
- ・ 全校朝礼や集会でも歌い、歌が身近に感じられるようにする。

自己評価シート NO. 4 安全管理

領域：安全対応能力の向上		中期目標：危機管理体制の確立と安全意識の高揚を目指し、安全で安心な学校の創造に努める。						
短期目標		成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価
			教職員	児童	保護者	地域		
①	危機管理体制の確立	学校安全計画を作成し、防犯訓練を実施する。	A	/	/	/	・常に危機意識を持つよう情報提供する。	A
			年2回（年度当初・年末）実施した。					
②	安全教育の充実	防災訓練や避難訓練を実施する。	A	A	A	/		A
			学期に1回は実施している。	事故にあっていない。けがをしないようにしている。 手を挙げて横断する。 ちゃんと気をつけている。 廊下を走る。				

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価  
 ・ 十分行き届いている。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策  
 ・ 常に危機意識を持つよう訓練したり情報提供したりする。  
 ・ 訓練を通して、児童の危機回避能力の向上を図る。

自己評価シート NO. 4 安全管理

領域：連携		中期目標：学校安全に万全を期すため、家庭や地域との連携を深める。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
①	家庭や地域との連携強化	関係団体や警察との連絡体制を整える。	A 年2回松平地区生徒指導連絡会を開催している。	/	/	A	・松平地区生徒指導連絡会の活性化を図る。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価
・ 特になし

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策
・ 松平地区生徒指導連絡会の内容を見直し、活性化を図る。

自己評価シート NO. 5 保健管理

領域：健康づくり		中期目標：健康教育の取組を通して、健康の自己管理能力向上を図る。					
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価
		教職員	児童	保護者	地域		
① 調和のとれた生活の推進	食事・運動・休養・睡眠の調和のとれた生活を指導する。	A	B	A	A	・早寝・早起き・朝ご飯について、指導の工夫をする。	A
		保健便りにあわせて学級指導を行っている。	風邪をひかないため。だいたいしている。 時々遅かったり寝坊したりする。 寝坊とかするとき、あまり朝ご飯を食べていない。				
② 生活習慣病の予防の推進	年1回、学校保健委員会を実施する。	A	/	A	/		A
		参加型の研修会を実施し、好評であった。					
③ 学校給食と望ましい食生活の推進	学校給食を通して、望ましい食習慣が身につくよう指導する。	A	B	/	/	・指導を継続する。	A
		食事のマナーは家庭と連携して取り組むようにしたい。 残菜0を目指している。 栄養士とTTで指導を行った。	かぜをひかないため。 嫌いな物も食べている。 どれもおいしい。好き嫌いはない。 残したら失礼だから。				
④ 地域ぐるみの健康づくりの推進	学校医等専門機関や地域との連携体制を整える。	C	/	/	/	・学校医との連携を強化する。	B
		食生活改善推進委員との共催による朝食の調理実習を実施した。					

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・保健室経営の重点化がなされ、その具体策が明確化されている。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・保護者・地域・学校が参加する研修会を実施し、生活習慣病の予防を推進する。

自己評価シート NO. 6 特別支援教育

領域：校内支援体制		中期目標：校内支援体制を整備し、個別の教育的ニーズに対応した指導・支援を充実する。					外部評価	
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策		
		教職員	児童	保護者	地域			
① 校内支援体制の確立	特別支援教育コーディネーターを中心に、校内指導支援委員会を開催する。	B					・継続的な情報交換をする。	B
		支援委員会と名っていないが、コーディネーターを中心に職員会で共通理解を図ったり、何でも話せる雰囲気の中で個人的に話したりしている。できるだけ全体にも伝わるようにしている。						
② 職員研修の充実	研修会を開催し、共通理解を図ったり、支援の在り方を研修したりする。	A					・定期的な研修計画を作成する。	C
		2学期にも研修会をしたかったが、できなかった。						

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ 特別支援体制は整っているが、支援の実態・研修の成果が分かりかねる。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 校内指導支援委員会を開催し、情報交換を図る。
- ・ 定期的に研修会を開催し、支援の在り方を追求する。

自己評価シート NO. 7 組織運営

領域：サービス規律		中期目標：教職員の厳正なサービス規律の確保に努める。					改善策	外部評価
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果						
		教職員	児童	保護者	地域			
①	サービス規律に関する研修の徹底	研修計画に基づき、研修を実施する。 A 月1回、サービス研修を実施した。	/	/	/	/	・研修内容を見直し、継続して実施する。	/

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価  
 ・ 計画書は見えるがその成果は分からず、コメントできない。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策  
 ・ 研修内容を見直し、継続して実施する。

自己評価シート NO. 7 組織運営

領域：学校経理		中期目標：学校予算の執行を厳正に行う。					改善策	外部評価
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果						
		教職員	児童	保護者	地域			
①	予算の執行状況の定期的な公開	行事における予算計画を作成する。 A 起案の際に予算案を添付することについては、だいぶ徹底してきた。まだ、不十分な点もある。	/	/	/	/	・引き続き予算(学校財務)について教職員の意識の向上を図る。	/

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価  
 ・ 計画書は見えるが評価できない。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策  
 ・ 行事における予算計画を作成し、計画的に予算を執行する。

自己評価シート NO. 7 組織運営

領域：情報管理		中期目標：個人情報保護の管理に努める。					外部評価
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	
		教職員	児童	保護者	地域		
①	児童の個人情報に関する管理の徹底	個人情報保護管理に関する対応マニュアルを作成する。	D 学級だより等写真を載せるときに確認しながら行っている。				・学校設置パソコン内の情報管理の徹底を図る。

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・教職員の自己評価がDになっているが、この資料では判断しかね、評価はしない。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・学校設置パソコンと個人用パソコンの管理の徹底を図り、児童の個人情報を保護する。

自己評価シート NO. 8 研究

領域：校内研究		中期目標：研究授業・教材研究を通して、授業力を高める。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
①	指導方法の工夫・改善	校内研究推進計画を立て、研究授業を実施する。	A 担任が年1回は研究授業を実施し、指導方法の工夫・改善を図った。				・年1回以上、研修会や研究会に参加し、授業方法の工夫改善に生かす。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ ふるさと教育実践活動が盛りだくさん。気を付けたいのは、その活動の視点は毎年新しい目で確認し、マンネリ化しないようにすること。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 年間計画を見直して地域の特色を生かした教育活動を推進する。
- ・ 年に1回以上の研究会や研修会に参加し、授業方法の工夫改善に生かす。

自己評価シート NO. 8 研究

領域：職員研修		中期目標：校内外における研修を通して、教師力を高める。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
①	職員研修の充実	職員研修の推進計画を立てる。	A 特別支援教育研修、服務研修、地域探検研修、防犯研修、メンタルヘルス研修を実施した。				・職員の実態等把握し、計画を立てて、実施する。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ 活動の視点は毎年新しい目で確認し、マンネリ化しないようにすること。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 職員の実態や願い等ふまえた計画を立てて、実施する。



自己評価シート NO. 9 保護者・地域住民等との連携

領域：学校間の連携		中期目標：学校間の連携を図り、児童の人間力の向上を目指す。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
① 児小が連携し、学校間の円滑な接続の推進	児小連絡会を年に2回実施する。	B 松平児童館以外の入学児童について連絡会があってもよい。 1学期に1回はしている。					・入学する児童全ての児童館や保育所との連絡会を実施する。	B
② 小中が連携し、学校間の円滑な接続の推進	小中連絡会を年2回実施する。	A 松平地区生徒指導連絡会と進学に向けての連絡会を実施する。					・中学校との交流授業を実施する。	A
③ 人間関係作りの場としての他校との合同学習の推進	学期に1回は実施する。	A 3年生以上は合同学習があり、できている。渡津小、郷田小、江津工業高校	A 仲良くしたい。 コスモスでの交流。 友だちといっばい遊ぶ。 合同学習で遊ぶ。 あまりない。	A			・様々な学校との交流を実施する。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ 異校種間の交流や、近隣の小学校との合同学習など、その努力と成果が見られる。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 新入生が在園した児童館や保育所との連絡会を年に2回実施し、児童の指導に生かす。
- ・ 他校との交流を実施し、児童の社会性を育む。

自己評価シート NO. 9 保護者・地域住民等との連携

領域：学校運営への参画及び協力		中期目標：家庭や地域社会との連携を図り、それらと一体となった教育活動を進める。							
短期目標		成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
			教職員	児童	保護者	地域			
①	地域や団体との交流の促進	地域団体との連絡会を開催する。	A 授業公開日（教育ウィーク）、行事、松平地区生徒指導連絡会、民生委員会				A 学校は地域の行事に積極的に協力され、入り込んでおられ感心する次第である。	・地域の活動に参加するよう引き続き呼びかける。	A
②	P T A活動の活性化	P T A正副会長会を定期的で開催する。	A 学期に2回開催した。		B				A
③	地域外部講師の活用	地域等外部講師を積極的に活用し、ダイナミックな学習を展開する。	B 老人会や公民館をはじめ、たくさんの方に指導を受けた。					・地域の人材を掘り起こす。	B

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ 地域行事への学校としての参加は、地域との連携を保つために重要である。唯、授業時間数の確保の問題、教員の多忙化に気を付けたい。学校を離れて、地域に全てお任せすることも多々あるのではないかと。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 学校が地域の行事に参加し、交流を図る。

自己評価シート NO. 9 保護者・地域住民等との連携

領域：情報提供		中期目標：学校教育の内容や計画を広く情報発信する。					外部評価	
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策		
		教職員	児童	保護者	地域			
①	学級だより等による連携	家庭にたよりや懇談会等で情報を提供する。	B 学級だよりの回数を増やす。ゆとりがあるときには、児童が見えて、伝えたいことが浮かんでくる。1学期に比べて2学期はゆとりがなかった。	/	A 学級通信をもっと多く出してほしい。	/	・学級だよりは定期的に発行し、学級や子どもの様子を紹介する。	B
②	学校だより等での広報活動	月1回の学校だよりの発行やホームページにより学校の情報を提供する。	A 校長が月1回学校だよりを発行した。松川町公民館のホームページに学校の情報を提供した。		/		A 学校の協力要請に地域はよく協力しているが、学校が地域のためにしていることがよく分からないので、住民誰もが知る方法はないか。学校の様子を便りにして発行してもらい、学校の様子がよく分かってありがたい。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ HPを開設しておられるが、個人情報とのかねあいに問題点はないか。また、HPへの反応はどうか。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ HPを通して個人情報が流出しないようチェック体制を構築する。
- ・ 学級便りは定期的に発行し、学級や子供の様子を紹介する。

自己評価シート NO. 10 施設・設備

領域：学習・生活環境		中期目標：安全で潤いのある教育環境の整備を図る。						
短期目標	成果・取組指標	自己評価結果				改善策	外部評価	
		教職員	児童	保護者	地域			
①	豊かな図書環境の充実	図書環境を整備し、積極的な活用を図る。	C 整備はまだできていない。12月はクリスマスコーナー、11月は読書カード(感想文)、9月は新刊図書の紹介をした。学級に本がたくさんあり、朝読書にはほとんどこちらの方を読んでいる。		B		・図書館整備について、専門的な人の指導を受ける。	C
②	教室や廊下の掲示の工夫	教室や廊下に児童の学習の成果を掲示し、成長の足跡を明らかにする。	A		A		・掲示場所を割り当て、掲示の計画を立てる。	A
③	花いっぱい活動の促進	教室や校舎内外には花を飾ったり育てたりして、美しい環境を整える。	B 教室に花を飾るようにしたい。	A きれい。植えていて、花がきれい。今はないけど、春・夏はいっぱいさいていた。目立ってすごい。花があつてきれい。	B	B	・花壇の栽培計画を作成する。 ・腐葉土を作って栽培を促進する。	A
④	清掃活動の充実	清掃活動の充実を図り、教育環境を整える。	A 教員が児童と一緒にいつも清掃している。	A 掃除をしたら、きれいになる。一生懸命頑張っている。掃除は早く取りかかっている。学校をきれいにする。自分の学校だから。	B	B	・引き続き、清掃活動の充実を図る。	A

自己評価の達成状況については、肯定評価の割合により4ランクに分けた。A 90%以上 B 70%~90% C 50%~70% D 50%以下

外部評価

- ・ 図書充実に行政の支援がもっとあるべきである。少ない人数（児童・教職員）で環境整備がよく施されている。地域の人々の協力が大である。

外部評価を受け止めた学校としての次年度の改善策

- ・ 図書整備について、専門的な人の指導を受け、環境を整える。
- ・ 掲示場所を割り当て、掲示計画を立てる。
- ・ 花壇の栽培計画を立て、花いっぱいの環境を整える。
- ・ 児童と教職員が共に清掃活動に取り組むことを通して、美しい環境を整える。

平成18年度

学 校 評 価 書

江津市立松平小学校